

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 8 年 8 月 25 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 9 月 25 日（金）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

令和８年度熊本地震～熊本県宇城市への対口支援活動～	1
(賀茂地域局)	

◎令和８年９月の行事予定

行事予定表	14
-------	----

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学東部サテライト公開講座『教育学』オンライン視聴会	16
(賀茂地域局)	

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

「静岡県立大学社会人講座」第46回講座	18
(賀茂地域局)	

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡文化芸術大学公開講座『オペラへの招待』オンライン視聴会	20
(賀茂地域局)	

9月の防災講座	22
(賀茂地域局)	

下田総合庁舎での福産品販売会（令和８年度第２回）の開催	24
(賀茂健康福祉センター)	

たばこの害について考えよう！

～こどもから大人へメッセージを伝えます～	25
(賀茂健康福祉センター)	

医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会【下田会場】の開催	27
(賀茂健康福祉センター)	

「青野大師ダム教室」の開催について	30
(下田土木事務所)	

静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施	41
(下田土木事務所)	

道路愛護優良団体の表彰について	49
(下田土木事務所)	

消費者教育出前講座の実施	50
(賀茂広域消費生活センター)	

賀茂地区幼保小接続推進研修会	51
(賀茂地域教育振興センター)	

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	あおき かつひろ 青木 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	まつおか ひろのり 松岡 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	ささの つとむ 笹野 努（欠席）
4	下田財務事務所長	たけだ としき 竹田 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	わたなべ しん 渡辺 心
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	じょうけ まこと 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば ふ じ お 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	まつやま はじめ 松山 創
10	下田土木事務所長	おおすみ やすし 大隅 泰史
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつひさ まゆみ 松久 真弓
12	賀茂出納室長	まつなが とし の 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	み むろ なおこ 三室 直子
14	賀茂地域局次長兼地域課長	いいだ まさゆき 飯田 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	はかまだ こうじ 袴田 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)

柱

スクリーン

副局長兼
賀茂危機管理監

○

22

賀茂地域
教育振興
センター参事

専門官兼
賀茂広域消費生活
センター長

賀茂出納室長

下田土木事務所長

伊豆農業研究センター長

水産・海洋技術研究所
伊豆分場長

プロジェクト

賀茂農林事務所長

賀茂保健所長

賀茂健康福祉
センター長

下田財務事務所長

賀茂地域局長

次長兼
地域課長

兼事參
危機管理課長

出口

鹿者記

令和 8 年熊本地震

～熊本県宇城市への対口支援活動～

静岡県

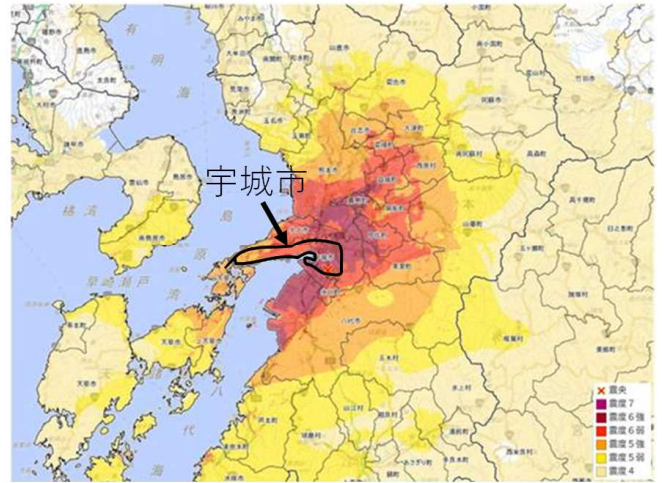
本日は令和8年7月28日に発生した熊本地震に関し、静岡県が実施している宇城市への対口支援活動について御報告いたします。

当局の職員も派遣職員として現地で活動してまいりましたので、その内容も含め御説明いたします。

地震の概要

◆ 地震の概要

- ① 地震名称 令和8年熊本地震
- ② 発生日時 令和8年7月28日(火)16時27分
- ③ 発生場所 熊本県熊本地方 深さ16km (暫定値)
- ④ 地震規模 マグニチュード7.1 (暫定値)
- ⑤ 発震機構 北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震
- ⑥ 各地の震度(熊本県内)
 - ・震度7 :宇城市、氷川町
 - ・震度6強 :熊本市、八代市、宇土市、美里町、益城町、嘉島町
 - ・震度6弱 :上天草市、合志市、大津町、西原村、御船町、芦北町
- ⑦ 津波注意報
 - ・28日16時29分 津波注意報発表(熊本県有明・八代海)
 - ・28日18時10分 津波注意報解除
- ⑧ 八代市平山新町、宇城市松橋町で長周期地震動階級4を観測



2

はじめに「令和8年熊本地震」の概要について説明します。

7月28日16時27分に熊本県熊本地方の深さ16kmでマグニチュード7.1の地震が発生しました。

この地震により熊本県宇城市及び氷川町で最大震度7を観測しました。

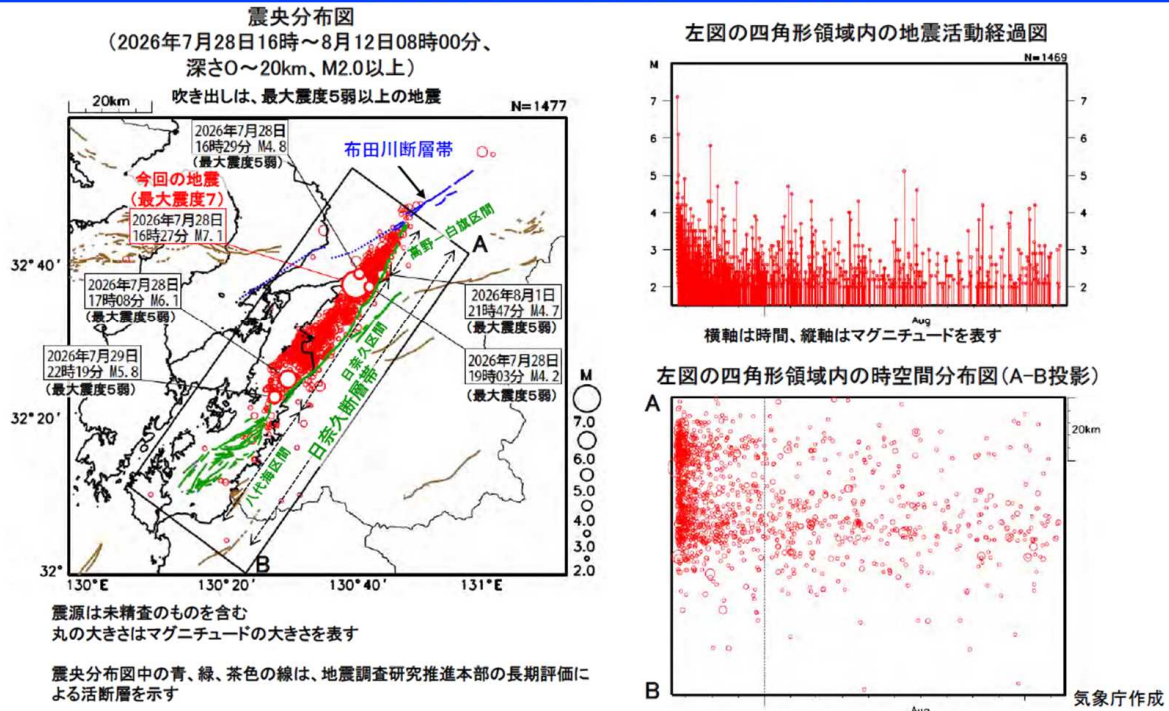
また、熊本県八代市及び宇城市で長周期地震動階級4を観測しております。

この地震の発震機構は北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震であります。

図は熊本県付近の震度分布を示しています。

津波注意報も発令されましたが、津波被害は確認されておられません。

地震発生場所の詳細



今回の地震活動域付近には布田川断層帯と日奈久断層帯が存在しています。

今回の地震活動は、日奈久断層帯の3つの区間（高野-白旗区間、日奈久区間、八代海区間）のうち、主に高野-白旗区間及び日奈久区間に沿って分布しています。

地震調査研究推進本部地震調査委員会は、「M7.1の震源断層の主たる部分は、日奈久断層帯の高野-白旗区間の一部及び日奈久区間の北東部に及んでいると考えられる。」と評価しています。

この地震の震央周辺では、M7.1の地震発生後の同日17時08分にM6.1の地震（最大震度5弱）、29日22時19分にM5.8の地震（最大震度5弱）が発生するなど、活発な地震活動が継続しており、28日から8月1日にかけて震度5弱以上の地震が6回発生しております。

宇城市の南側に位置する、氷川町付近では最大約2mの右横ずれ変位が生じました。

この地震による被害状況から、7月31日に静岡県は、総務省より熊本県宇城市への対口支援団体に決定したとの連絡を受けました。

これにより、県は「災害支援本部」を設置し、8月3日に先遣隊として、危機管理部職員3人が宇城市へ出発しました。

宇城市の概要



次に、対口支援先である宇城市の概要です。

宇城市は、平成17年1月に旧宇土郡三角町、不知火町、下益城郡松橋町、小川町、豊野町の5町が合併して誕生しました。

南北には九州の大動脈である九州自動車道及び国道3号が走り、西は天草、東は宮崎県へとつながる地理的条件に恵まれ、西部では北に有明海、南に八代海（不知火海）を望む自然豊かな地域です。

東西約31.2km、南北13.7kmと東西に長い形状で、面積は188.55km²、人口は55,391人（R8.7.1現在）です。

宇城市の被災状況

◆ 被災状況（8月21日 第23回宇城市災害対策本部会議資料）

- 人的被害 ： 34人（死亡4人、重症1人、中等症25人、軽症4人）
- 避難者 ： 420世帯 649名（9避難所）
- 住家被害 ： 4,600件（推計内訳 全壊200、半壊800、一部損壊3,600）
- 電 気 ： 通電
- 水 道 ： 市内で断水（2,579戸）
- 孤立集落 ： 無し
- 道路被害 ： 市道通行止め49区間
- 鉄道被害 ： 運休（九州新幹線 熊本駅～新水俣駅、JR鹿児島本線 宇土駅～八代駅）

5

次に、8月21日現在の宇城市の被災状況です。

人的被害は34人、うち4人が死亡、重症1人。

避難者は420世帯、住家被害は4,600件にのぼり、そのうち2割程度が全壊か半壊です。

電力は確保されているものの、水道は依然約2,579戸で断水している厳しい状況です。

孤立集落は見られませんが、市道の通行止めや鉄道の運休が続いており、物流や救援活動に一定の影響を及ぼしています。

情報収集:宇城市役所の被災状況



被害が少ない庁舎(右側)
執務室のある議会棟(左側)



隆起した蓋やインター
ロッキング



男女比に配慮された仮設トイレ



バリアフリー機能のあるトイレカー

市庁舎は、ガラスが数枚割れた程度であるが、庁舎外周部分は隆起で段差が生じており歩行する際に注意が必要であった。

庁舎内はエアコンが効いており快適であった。

水が使えないため、庁舎のトイレが使えなかったが、仮設トイレやトイレカーなどが十分に設置されており困ることはなかった。

6

ここからは、派遣職員が情報収集した宇城市内の被災状況を御説明します。

まずは、宇城市役所の被災状況です。

庁舎内部はガラスが数枚割れた程度で建物自体は大丈夫でしたが、庁舎外では排水枡の蓋やインターロッキングの隆起が見られ、歩行時に注意が必要な状況でした。

庁舎内は空調も稼働し、作業環境としては良好でした。

一方で、断水していたことで通常のトイレが使用不可であったため、仮設トイレや簡易トイレが設置されていました。

情報収集:住宅、道路の被災状況



住宅の傾き



道路のひび割れ



住宅の倒壊



地面のひび割れ

【宇城市小川町の状況】
地震の影響により、道路や地面
にひび割れが発生
地盤のずれにより、傾いた住宅
も見られた

次は、住宅や道路の被災状況となります。

右上の道路は、断層にぶつかっており、ずれや隆起が見られました。

また、住宅にも被害が出ており、倒壊や傾きが見られました。

情報収集:物資拠点の状況 (ウイングまつばせ)



応援職員によるバケツリレーで荷物を運び入れ



飲料水



乳児用おむつ



食料

7月31日(金)の情報では、市役所の管理職までが物資対応に従事しており、その他の災害対策が機能していないとのことであったが、8月3日(月)時点では、福岡市や宮崎県の応援職員が対応しており、安定していた。

物資は、水、清涼飲料水、乳児用おむつ、食料などが豊富にあった。

宇城市役所に隣接する市の物資拠点（地域内輸送拠点）「ウイングまつばせ」の状況です。

7月31日時点の情報では、市役所の管理職が物資対応を担い、他の災害対策機能は十分に稼働していない状況でしたが、福岡市や宮崎県からの支援員が対応し、作業が安定化していました。

物資は水、飲料水、乳児用おむつ、食料など多様で充実しており、写真のとおり大量に保管・供給されていました。

搬送作業も支援員によって効率的に行われていました。

情報収集：避難所の状況（小川防災拠点センター）



スポットクーラー、大型送風機



すき家による炊き出し



循環型シャワーシステム



生活用水に使える防災井戸



車中泊への注意喚起チラシ

空調が効いており涼しく、物資が豊富なうえ、炊き出し、循環型シャワーシステム、自衛隊のお風呂、防災井戸もあった。車中泊への対策として、チラシや宇城市の保健師が巡回するなど設備も人も充実していた。

9

避難所（小川防災拠点センター）の状況です。

避難所では常設のエアコンに加え、スポットクーラーや大型送風機も稼働し、暑さ対策は比較的充実していました。

炊き出しも行われました。

循環型シャワーシステムや自衛隊の風呂も用意されています。

また、防災井戸の活用により生活用水も確保されておりました。

車中泊をする避難者向けの注意喚起看板やチラシも配布されており、避難された方への細やかな配慮がされていました。

本県からの職員の派遣について

1 派遣状況 ※政令市は別途派遣。

区分	支援先	派遣期間	人数	内訳
第1陣	宇城市	8/3(月) ～8/ 7(金)	3人	県3人
第2陣		8/6(木) ～8/14(金)	11人	県4人、市町7人(三島市、伊豆市、島田市、焼津市、藤枝市、袋井市、川根本町 各1人)
第3陣		8/13(木) ～8/21(金)	11人	県4人、市町7人(下田市、熱海市、御殿場市、牧之原市、菊川市、西伊豆町、長泉町 各1人)
第4陣		8/20(木) ～8/28(金)	11人	県4人、市町7人(伊東市、富士市、掛川市、湖西市、伊豆の国市、函南町、清水町 各1人)
第5陣		8/27(木) ～9/4(金)	11人	県4人、市町7人(沼津市、富士宮市、磐田市、裾野市、御前崎市、小山町、森町 各1人)
計			47人	県19人、市町28人

2 活動内容

- ・毎日、支援の総括を担う福岡市や対口支援団体である中部各県との情報共有会議などに参画し、業務に応じた人員配置の調整や、避難所の環境改善等に係る対策を検討し実施
- ・市役所などにおいて、り災証明書の申請に係る受付業務に従事し、制度概要や申請方法を被災者に対し説明
- ・被災者に対する生活物資の仕分け・配付

中部各県との
情報共有会議
風景



り災証明書の
申請に関する
受付業務風景



生活物資の
仕分け風景
(小野部田
(おのへた)
小学校避難所)



次に、対口支援について御説明します。

本県から宇城市への「行政・応急対策職員」として、まずは第1陣～第5陣まで合計47人を派遣し、避難所運営や物資集積所業務及びり災証明書の発行業務を行っております。

第1陣は先遣隊として、危機管理部職員が3人、第2陣以降は、県職員4人に加え、県内市町にも御協力いただき対口支援を行っております。

賀茂地域局からは、第2陣に1人派遣しております。

本県からの職員の派遣について

3 宿泊場所

- ・熊本市や大津町のホテルに宿泊
- ※ホテル周辺のライフラインは問題なく使用できた。
- ・移動手段は車(レンタカー)
- ・九州道の通行止めにより、大津町から宇城市への移動時間には時間を要した



【移動時間(自動車)】

- 熊本市内中心部～宇城市役所
国道3号線経由 70分(平時30分)
- 大津町～宇城市役所
高速道路経由 120分(平時40分)

4 1日のスケジュール

- ・九州道の渋滞を考慮して、早めにホテルを出発
- ・第2陣の業務としては、り災証明書の申請受付を派遣期間中は行いました。
- ・16時にり災証明書の申請受付が終了し、1日の申請書の整理などを行いました。
- ・17時頃に、本県の派遣職員で集まり、1日の業務について振り返りを行いました。

1日のスケジュール	
時間	内容
06:40	ホテル 出発
08:45	宇城市役所 到着
09:00	り災証明書 申請受付開始
16:00	り災証明書 申請受付終了
17:30	宇城市役所 出発
18:50	ホテル 到着

派遣職員の宿泊場所は、宇城市から離れた熊本市や大津町のホテルでした。

宿泊したホテル周辺では、地震の被害はあまり見られず、電気や水道などのライフラインは普段どおり使用できました。

また、飲食店やスーパーなども通常どおり営業していました。

大津町から宇城市役所まで平時であれば40分で移動出来ますが、九州自動車道 松橋IC～えびのIC間が8月14日6時まで通行止めとなっていたため、松橋IC付近で渋滞となり、最大120分かかりました。

支援業務:り災証明書の申請受付



派遣初日に行われる説明会の様子



り災証明の申請受付に各県の方々と協力しながら対応



	り災証明書	被災証明書	り災届出証明書
申請主体	建物の居住者	建物の所有者又は店子(テナント)	動産などの所有者
法的根拠	有り	無し	無し
対応	後日調査により交付 一部損壊は即日交付可能	後日調査により交付	持参した写真により 即日交付
使途	仮設住宅の入居など公的支援	税の減免など市独自支援	動産の保険金請求など

12

ここからは、当局職員の具体的な活動内容です。

被災者支援の根幹となる「り災証明書」の申請対応を行いました。

宇城市役所では、証明書申請に係る受付業務を円滑に行うため、各県の担当者や関係機関と連携し、制度概要や申請方法の説明も被災者に丁寧に行いました。

表に示すように、申請主体や法的根拠、対応フローに違いがあり、それぞれの役割や証明書の種類ごとに正確な案内が必要です。

この申請支援は被災者の生活再建に不可欠なものであり、今後も迅速かつ丁寧な対応に注力してまいります。

【業務内容】

市役所などにおいて、り災証明書の申請に係る受付業務に従事し、制度概要や申請方法等を被災者に対し説明を行いました。

期間	場所	受付人数 (1日の平均)
8月7日～10日	宇城市役所	284人
8月11日～14日	小川総合文化センター・ラポート	79人

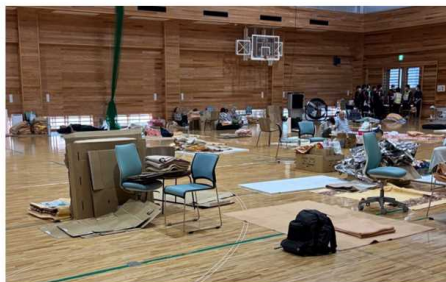
支援業務：派遣調整及び避難所環境改善



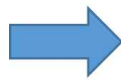
中部ブロック会議

毎日、支援の総括を担う福岡市や対口支援団体である中部各県との情報共有会議などに参画し、業務に応じた人員配置の調整や、避難所の環境改善等に係る対策を検討し実施した。

避難所環境の改善については、宇城市の意向もあり、直ぐにダンボールベッドなどが設置されないなど調整に苦労しながらも、設置を実現させた。



(改善前)床に毛布を敷き雑魚寝
(8月7日時点)



(改善後)ダンボールベッド及び間仕切りが設置
(8月10日時点)

13

また、毎日開催される、支援の総括を担う福岡市や対口支援団体である中部各県との情報共有会議などに参画し、業務に応じた人数配置の調整や避難所の環境改善に係る対策を検討する等、業務遂行の効率化・課題解決に努めました。

避難所環境については、8月7日時点では、床に毛布を敷き雑魚寝状態であった避難所も見られましたが、8月10日時点ではダンボールベッド及び間仕切りが設置され、避難されている方のプライバシーが確保される形となりました。

避難所の生活環境においては、TKBが大切とされています。

今回の宇城市では、トイレはトイレカーや仮設トイレが多く設置され、食事はキッチンカーや企業による炊き出しも見られました。

しかし、ダンボールベッドの設置は避難所によって異なっており、早い避難所では発災から1週間、遅い所では2週間程度かかっていました。

10年前にも被災した熊本県においても避難所の整備に時間を要するため、本県ではそれ以上に時間を要する可能性があります。

そのため、平時から避難所の環境整備については考えておかねばならないと考えております。

※T＝トイレ、K＝キッチン、B＝ベッド

行事予定表（令和8年9月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	火	①静岡大学公開講座オンライン視聴会 18:00-19:30 賀茂キャンパス ②防災講座（浜崎小学校） 9:15-11:50 浜崎小学校				屋外広告物適正化旬間パトロール 下田市（13:30-）
2	水					
3	木	防災講座（河津小学校） 13:25-14:05 河津小学校		下田総合庁舎福産品販売会 11:00-14:30 庁舎1階エントランスホール		屋外広告物適正化旬間パトロール 東伊豆町（10:00-） 河津町（13:30-）
4	金			下田総合庁舎福産品販売会 11:00-14:30 庁舎1階エントランスホール		
5	土					
6	日					
7	月					屋外広告物適正化旬間パトロール 西伊豆町（10:00-） 松崎町（13:30-）
8	火	防災講座（下田中学校） 13:10-15:00 下田中学校		食育指導者研修会 14:00-15:30		
9	水					
10	木	防災講座（稲取小学校） 10:25-12:05 稲取小学校		こどもから大人へのメッセージ事業（仁科小学校） 13:35-14:20		屋外広告物適正化旬間パトロール 南伊豆町（13:30-）
11	金	静岡県立大学社会人講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
12	土	静岡文化芸術大学公開講座オンライン視聴会 10:00-12:00 賀茂キャンパス				
13	日					
14	月	防災講座（下田市子育て支援センター） 10:30-11:30 下田市子育て支援センター				
15	火	防災講座（下田認定こども園） 10:00-11:00 下田認定こども園				青野大師ダム教室（南上小学校） 10:10-11:15
16	水	防災講座（稲生沢小学校） 13:20-14:05 稲生沢小学校				青野大師ダム教室（南中小学校） 10:35-11:45
17	木	防災講座（熱川小学校） 8:25-10:05 熱川小学校				
18	金	①防災講座（下田認定こども園） 10:00-11:00 下田認定こども園 ②防災講座（朝日小学校） 13:25-15:00 朝日小学校				
19	土	静岡文化芸術大学公開講座オンライン視聴会 10:00-12:00 賀茂キャンパス		医庫・福祉・可哀なんでもかんでも相談会【下田会場】 13:30-15:30		
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木	防災講座（下田小学校） 13:20-14:55 下田小学校				
25	金					
26	土	静岡文化芸術大学公開講座オンライン視聴会 10:00-12:00 賀茂キャンパス				
27	日					
28	月	①防災講座（南伊豆東小学校） 9:20-12:05 南伊豆東小学校 ②防災講座（下田高校） 15:20-16:10 下田高校				
29	火	防災講座（ひかり保育園） 10:00-11:00 ひかり保育園				青野大師ダム教室（南伊豆東小学校） 9:50-11:05
30	水	防災講座（稲生沢こども園） 10:00-11:00 稲生沢こども園				

行事予定表（令和8年9月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	火					
2	水					
3	木				賀茂地区幼保小接続推進研修会 14:00-16:30 賀茂教育会館	
4	金					
5	土					
6	日					
7	月					
8	火					
9	水					
10	木					
11	金					
12	土					
13	日					
14	月					
15	火					
16	水			消費者教育出前講座 17:40-19:00 下田高校(定時制)		
17	木					
18	金					
19	土					
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木					
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					

令和8年8月25日

記者提供資料

<賀茂キャンパス活用プログラム>

静岡大学東部サテライト公開講座
『教育学』オンライン視聴会

(賀茂地域局)

(要旨)

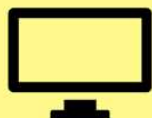
静岡大学が主催する講座「多彩な視点から学ぶ伊豆半島の自然と社会」が「教育学」をテーマに行われます。同大学の協力により、9月1日（火）にオンライン視聴会を開催します。

(概要)

日 時	令和8年9月1日（火） 18:00～19:30 （途中入退出可能）
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	演題・講師 「支援者の眼差し-障害を持つ子供たちを地域、学校で支え合う仕組みづくり-」 静岡大学教育学部教授/教育学部長 博士（教育学） 鎌塚 優子 氏 ※講演会場（静岡大学東部サテライト）とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴する。
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	二次元コード： 電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp （氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。） いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡大学、静岡県賀茂地域局ほか）

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

多彩な視点から学ぶ 伊豆半島の自然と社会



静岡大学東部サテライト（伊豆市）で実施する講座を
賀茂キャンパスの大型スクリーンでオンライン（Zoom）視聴します。

日時

9/1 火 18:00-19:30

受講料 無料

場所

賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎別館2階）下田市中531-1

テーマ

支援者の眼差し -障害を持つ子供たちを 地域、学校で支え合う仕組みづくり-

障がいのある子どもたちを、地域や学校でどのように支えていけばよいのかを一緒に考えます。

障がいのある子どもたちが、地域や学校で安心して暮らし、学ぶためには何が必要でしょうか。この講演会では、人権を尊重する視点や、誰もが持つ無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について学びながら、子どもたちへのより良い関わり方を考えます。

教育・医療・福祉の専門職や関係機関、地域の皆さんとのつながりを大切にしながら、子どもたちをみんなで支えるためのヒントを一緒に探していきましょう。

静岡大学教育学部教授/
教育学部長 博士（教育学）

鎌塚 優子 氏

プロフィール

岐阜聖徳学園大学を経て現職、専門分野は心身の健康教育にかかわることや養護実践学が主な研究テーマですが、現在は特に教育・医療・福祉連携・地域連携、および障害を持つ子どもたちへの心身の健康教育に力を注いでいます。



申込方法

参加を希望される方はいずれかの方法でお申し込みください。

QRコード



電話（静岡県賀茂地域局地域課）

☎ 0558-24-2202

メール

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

令和8年8月25日

定例記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

「静岡県立大学 社会人講座」第46回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による社会人講座の第46回講座を令和8年9月11日（金）に開催します。

(概要)

日 時	令和8年9月11日（金） 13:30～15:00
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	演題：「デジタル時代、旅はどう変わる？ ― 観光DXがつくる新しい旅行体験 ―」 講師：静岡県立大学経営情報学部・大学院経営情報イノベーション研究科 助教 楊 捷（ヨウ ショウ）氏
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	二次元コード：  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
主 催	賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県立大学、静岡県賀茂地域局ほか）

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

社 会 人 講 座

AIやアプリで旅はどう変わる？

観光DXがもたらす一步進んだ旅行体験を、先取りして学んでみませんか？

令和8年

参加
無料

9月11日

金

午後
1時30分
▼
3時00分

会場 賀茂キャンパス【下田総合庁舎別館2階】(下田市中531-1)

講座テーマ

デジタル時代、旅はどう変わる？
— 観光DXがつくる新しい旅行体験 —

講師

静岡県立大学 経営情報学部 経営情報イノベーション研究科
ツーリズム研究センター 助教 楊 婕 (ヨウ ショウ) / YANG Jie



講座内容

スマートフォンやAIの普及により、旅の楽しみ方は大きく変わりつつあります。旅行前の情報収集から宿泊予約、観光地での情報取得まで、デジタル技術は旅行のあらゆる場面で活用されるようになりました。一方で、「デジタルについていけるか不安」「便利になった一方で困ることはないのか」と感じる方も少なくありません。本講座では、AIや観光アプリ、キャッシュレス決済などの身近な事例を紹介しながら、デジタル技術が旅行体験をどのように変えているのかを分かりやすく解説します。また、地域観光におけるデジタル活用の現状や課題、今後期待される新しい旅行のあり方についても紹介します。

申し込み方法

以下、いずれかの方法でお申し込みください。

㊴ 二次元コード 右記二次元コードより、お申し込みください。

☎ 電話番号 0558-24-2202

✉ メール kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



問い合わせ先

静岡県賀茂地域局地域課 ☎ 0558-24-2202

主催

賀茂キャンパス活用推進員会(静岡県立大学、静岡県賀茂地域局ほか)

記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡文化芸術大学公開講座
『オペラへの招待』オンライン視聴会

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡文化芸術大学が主催する公開講座が「オペラへの招待～オペラから広がる文化芸術の世界～」をテーマに行われます。同大学の協力により、今回初めてオンライン視聴会を開催します。

(概要)

1 内 容

日時	テーマ・講師
9月12日(土) 午前10:00～12:00	・「オペラの基礎講座-声で決まる役柄の世界」 村松 達彦(静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局) ・「オペラの魅力-美しい歌にはドラマがある」 高田 和文(静岡文化芸術大学 名誉教授)
9月19日(土) 午前10:00～12:00	・「なぜオペラで人は歌うのか-「歌う芝居」の成立」 萩原 里香(静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授) ・「オペラ《サロメ》-世紀末芸術と頹廢の美学」 上山 典子(静岡文化芸術大学 芸術文化学科 教授)
9月26日(土) 午前10:00～12:00	・「劇場芸術の境界線-オペラ劇場と初代帝国劇場」 永井 聡子(静岡文化芸術大学 芸術文化学科 教授) ・「素材のテクスチュアを活かす-協働的学びにおけるオペラ衣装とそのテキスタイルデザイン」 荒川 朋子(静岡文化芸術大学 デザイン学科 准教授)
10月3日(土) 午前10:00～12:00	・「協奏するラグジュアリー-衣装と一張羅」 藤井 尚子(静岡文化芸術大学 デザイン学科 教授) ・「静岡国際オペラコンクールの鑑賞方法-声の個性の楽しみ方」 村松 達彦(静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局)

2 会 場 静岡県下田総合庁舎 別館2階 賀茂キャンパス (下田市中531の1)

3 対 象 県民など(定員:各回100名)

4 参 加 費 無料

5 申 込 次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① 右の二次元コードからアクセスしてください。
- ② 電子メールで氏名、参加人数などを記載してお送りください。(宛先:kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp)
- ③ 電話(0558-24-2202)で担当あてにお申し込みください。



担当 地域課 菅尾

電話 0558-24-2202

令和8年度静岡文化芸術大学公開講座
オンライン視聴会

定員
100名

参加費
無料

オペラへの招待

～オペラから広がる文化芸術の世界～

静岡文化芸術大学では、今年11月に浜松市で開催される
第10回静岡国際オペラコンクールに合わせ、「オペラ」をテーマとした公開講座を実施します。
この公開講座を賀茂地域のみならずにもご覧いただけるよう、
オンライン視聴会（パブリックビューイング）を実施します。
※著作権保護のため、録画・録音・写真撮影・転載は禁止です。

会場：賀茂キャンパス（下田総合庁舎別館2階）
下田市中531-1

※複数回の参加も可能です

9/12 土 午前 10:00-12:00

- オペラの基礎講座 - 声で決まる役柄の世界
村柏達彦（静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局）
- オペラの魅力 - 美しい歌にはドラマがある
高田和文（静岡文化芸術大学 名誉教授）

9/19 土 午前 10:00-12:00

- なぜオペラでは人は歌うのか
- 「歌う芝居」の成立
萩原里香（静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授）
- オペラ《サロメ》 - 世紀末芸術と頹廢の美学
上山典子（静岡文化芸術大学 芸術文化学科 教授）

9/26 土 午前 10:00-12:00

- 劇場芸術の境界線 - オペラ劇場と初代帝国劇場
永井聡子（静岡文化芸術大学 芸術文化学科 教授）
- 素材のテクスチュアを活かす
- 協働的学びにおける
オペラ衣装とそのテキスタイルデザイン
荒川朋子（静岡文化芸術大学 デザイン学科 准教授）

10/3 土 午前 10:00-12:00

- 協奏するラグジュアリー
- 衣裳と一張羅
藤井尚子（静岡文化芸術大学 デザイン学科 教授）
- 静岡国際オペラコンクールの鑑賞方法
- 声の個性の楽しみ方
村柏達彦（静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局）

いずれかの方法でお申し込みください。

申込
方法



二次元コードで
お申し込み▶



電話でのお申し込み
0558-24-2202



メールでのお申し込み
kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

お問い合わせ

静岡県賀茂地域局地域課 TEL: 0558-24-2202

主催

賀茂キャンパス活用推進員会（静岡文化芸術大学、静岡県賀茂地域局ほか）

9月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	9月1日(火) 9:15～11:50	浜崎小学校 (下田市)	全校児童 約60人	(全)地震体験(車) (低)防災ダック (中)防災講話 (高)HUG
②	9月3日(木) 13:25～14:05	河津小学校 (河津町)	4年生 約27人	静岡県ジュニア防災士 養成講座(防災講話)
③	9月8日(火) 13:10～15:00	下田中学校 (下田市)	2年生 約110名	避難所運営ゲーム (HUG)
④	9月10日(木) 10:25～12:05	稲取小学校 (東伊豆町)	4年生 約10人	地震体験(車) 防災講話
⑤	9月14日(月) 10:30～11:30	下田市子育て 支援センター (下田市)	利用者 約20人	地震体験(車) サバイバルスキルアッ プ講座
⑥	9月15日(火) 10:00～11:00	下田 認定こども園 (下田市)	保護者 約10人	サバイバルスキルアッ プ講座
⑦	9月16日(水) 13:20～14:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生 約20人	未定
⑧	9月17日(木) 8:25～10:05	熱川小学校 (東伊豆町)	3、4年生 約40人	静岡県ジュニア防災士 養成講座(防災講話) サバイバルスキルアッ プ講座
⑨	9月18日(金) 10:00～11:00	下田 認定こども園 (下田市)	園児 約70人	地震体験(車)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
⑩	9月18日（金） 13:25～15:00	朝日小学校 （下田市）	5年生 約10人	災害図上訓練（DIG）
⑪	9月24日（木） 13:20～14:55	下田小学校 （下田市）	4年生 約20人	地震体験（車） 防災講話
⑫	9月28日（月） 9:20～12:05	南伊豆東小学校 （南伊豆町）	全校児童 約90人	（低）サバイバルスキルアップ講座 （中）アプリを活用した防災講座 （高）土砂災害に関する講座
⑬	9月28日（月） 15:20～16:10	下田高校 （下田市）	1、2年生 約290人	土砂災害に関する講座
⑭	9月29日（火） 10:00～11:00	ひかり保育園 （下田市）	園児 約50人	地震体験（車） 防災ダック
⑮	9月30日（水） 10:00～11:00	稲生沢こども園 （下田市）	園児 約100人	地震体験（車） 防災ダック

（お願い）

- ・ 講座の取材を行う場合は、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・ 講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・ 講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 山田
連絡先：0558-24-2004

令和8年8月25日

定例記者懇談会資料

下田総合庁舎での福産品販売会（令和8年度第2回）の開催

（賀茂健康福祉センター）

（目的）

障害のある人が福祉施設等で作った製品（福産品）の購入を通じて、障害のある方の就労や生活の支援をするため、下田総合庁舎で福産品の販売会を開催します。

（概要）

- 1 日 時 令和8年9月3日（木）、4日（金） 11:00～14:30
- 2 会 場 静岡県下田総合庁舎1階エントランスホール
- 3 出店事業所・主な販売品目

出店する日…○

	事業所名	所在地	主な販売品目	9/3	9/4
1	伊豆つくし学園	下田市	手芸品		○
2	すぎのこ作業所	〃	陶芸、木工、手芸品	○	○
3	ワークあおぞら	〃	木工品、縫製品	○	○
4	東伊豆ワークセンター	東伊豆町	縫製品	○	
5	東伊豆町社会福祉協議会	〃	紙紐籠、SDGs 装飾品		○
6	あしたば作業所	南伊豆町	野菜、縫製品	○	○
7	おっけい	〃	コーヒー、コーヒー豆	○	○
8	ワークショップマナ	西伊豆町	パン、クッキー、縫製品	○	○
9	とことこ西伊豆	〃	弁当、わさび類	○	○

※令和8年度の下田総合庁舎福産品販売会は今回が最終です。

【参考】

前回の下田総合庁舎福産品販売会実績

	第1回
開催日時	R8.6.4（木）、5（金） 11:00～14:30
出店事業所数	9

担 当：福祉課 小田
連絡先：0558-24-2055

令和8年8月25日

定例記者懇談会資料

たばこの害について考えよう！

～こどもから大人へメッセージを伝えます～

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

西伊豆町立仁科小学校で受動喫煙防止教育を実施します。

こどもたちがたばこの害について考え、周囲の大人に対しメッセージを送り、メッセージを受け取った大人が自身の行動を振り返り、メッセージを返すことで、家族や地域全体の「受動喫煙防止」の意識向上を図ります。

(概要)

日 時	令和8年9月10日(木) 13:35～14:20
会 場	西伊豆町立仁科小学校
対 象	小学3・4年生 13人
内 容	・パペット人形劇の掛け合いによる講義 ・グループワーク「受動喫煙の害から身を守る方法を考える」 ・メッセージ作成 当日「こどもから大人へ」 授業の感想をもとに、身近な大人にメッセージを書く。 後日「大人からこどもへ」 こどもからもらったメッセージに対し返事を書く。
担 当	静岡県賀茂健康福祉センター健康増進課 西伊豆町健康福祉課

(その他)

当日、取材に来られる場合は、前日までに下記担当までご連絡ください。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2036

こどもから大人へのメッセージ事業

静岡県では、小学3、4年生に対して、受動喫煙防止教育を行い、その授業を受けた子どもが家庭や教師などの大人にメッセージを贈る「こどもから大人へのメッセージ事業」を行っています。

①こどもへの健康教育

県健康福祉センターの職員等が小学校において寸劇や紙芝居等を用いて受動喫煙防止教育を行います。

・時期：令和6年6月～12月

・時間：45分程度

たばこの健康への害や受動喫煙防止の必要性を伝えます。



②こどもから大人へのメッセージ

①の健康教育実施後に子どもが受動喫煙防止に対する考え方について、メッセージカードを作成し、保護者や教師等の大人に贈ります。

こどもからのメッセージを受けた大人は、子どもに対しメッセージ（受動喫煙防止宣言）を記入し、こどもを通じて学校に提出します。



こども ← 大人
お父さんへ
仕事でストレスがたまった時なんかは、
たばこをすわずにぼくに相談してください。

お母さんへ
たばこをすっているよりも、たばこのけむりを
すっているほうがどくなんだよ。
どくは200しゅるいなんだって。

大人 ← こども
心配してくれてありがとう。
お父さんも健康のためにたばこをやめたいと
思っていたから、これで終わりにするね。
ずっと元気な体で楽しく過ごしたいと思うよ。

お母さんはたばこをすわないけれど
職場ですっている人がいるので職場が禁煙に
なればいいのと思うよ。〇〇がおなか
にいるときにはたばこをすう人のそばには
行かないようにしたよ。

③大人による受動喫煙防止宣言

こどもからメッセージを受けた大人が、学年部会やPTA総会等で受動喫煙防止宣言をします。

令和8年8月25日

定例記者懇談会資料

医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会【下田会場】の開催

(賀茂健康福祉センター)

(要旨)

病気や障害、仕事や生活、法律、お子さんの発育に関することなどの困りごとに医療、福祉、司法の専門職がワンストップで相談をお受けする「なんでもかんでも相談会」が、下田会場で開催されます。

(概要)

日 時	令和8年9月19日(土) 13:30~15:30
会 場	静岡県下田総合庁舎 2階 第3会議室(下田市中531-1)
申 込	予約制になりますので、下記までご連絡ください。 予約時に相談内容を伺います。 相談は無料です。
問合先	静岡市清水医師会相談室(静岡市清水区渋川2-12-1) 電話 054-344-0550

(その他)

11月以降の開催予定日

- ・11月14日(土)
- ・1月30日(土)
- ・3月13日(土)

担 当：賀茂健康福祉センター
連絡先：0558-24-2033

医療

福祉

司法

な

ん

で

も

か

ん

で

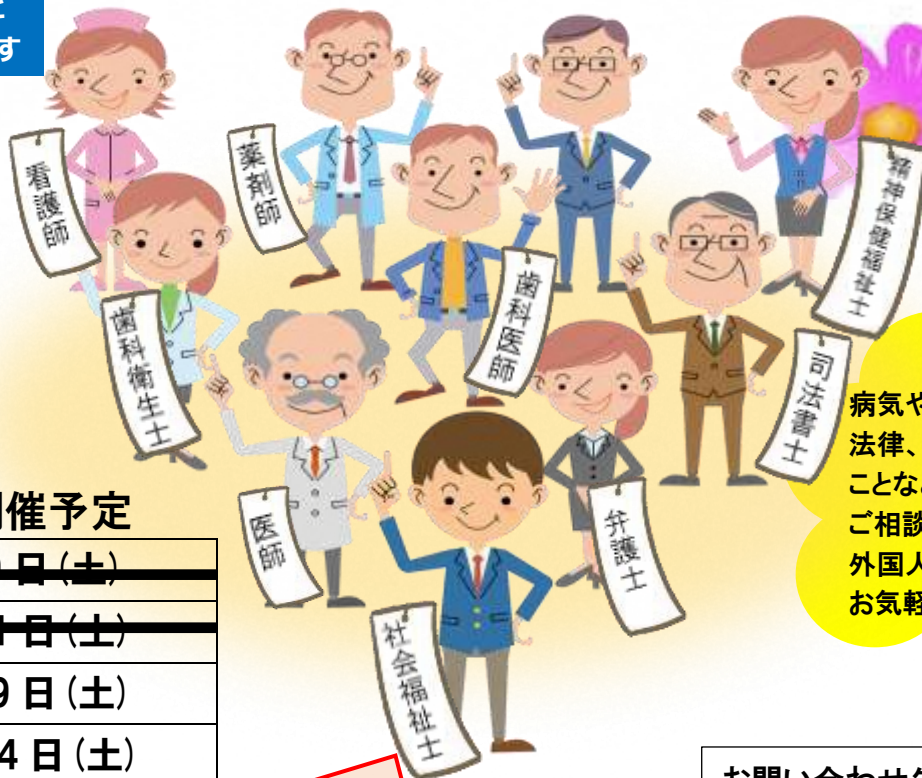
も

相談会



必要に応じて他会場と
オンラインでつながります

予約制



病気や障害、仕事や生活、
法律、お子さんの発育に関する
ことなど、困りごとなんでも
ご相談下さい！
外国人の方、専門職の方も
お気軽に！

2026 年度 開催予定

1 回目	5 月 0 日 (土)
2 回目	7 月 11 日 (土)
3 回目	9 月 19 日 (土)
4 回目	11 月 14 日 (土)
5 回目	1 月 30 日 (土)
6 回目	3 月 13 日 (土)

※開催時間: 13:30~15:30

相談は無料です。
予約の時に相談内容
をうかがいます。

お問い合わせ先:
静岡市清水医師会相談室
054-344-0550
〒424-0053 静岡市清水区渋川 2-12-1

心配ごとお聞かせください！

主 催：一般社団法人 静岡市清水医師会

(委託先) 一般社団法人 静岡県社会福祉士会 (銀さら勉強会)

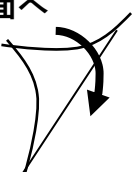
共 催：一般社団法人 静岡市清水歯科医師会 清水薬剤師会 法テラス静岡

一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会

協 力：静岡県国際交流協会 (福) 静岡市社会福祉協議会 (福) 菊川市社会福祉協議会

東伊豆町 伊豆市 湖西市 一般社団法人 浜名医師会

詳しくは裏面へ





開催時間 **13:30～15:30** を予定

※会場に駐車場がございますので、お車でもお越しいただけます。

【清水会場】静岡市清水医師会 大会議室



静岡市清水区渋川二丁目12番1号

【菊川会場】菊川市総合保健福祉センター



菊川市半済1865

【下田会場】下田総合庁舎 2階



下田市中531-1

【東伊豆会場】東伊豆町役場 1階 会議室



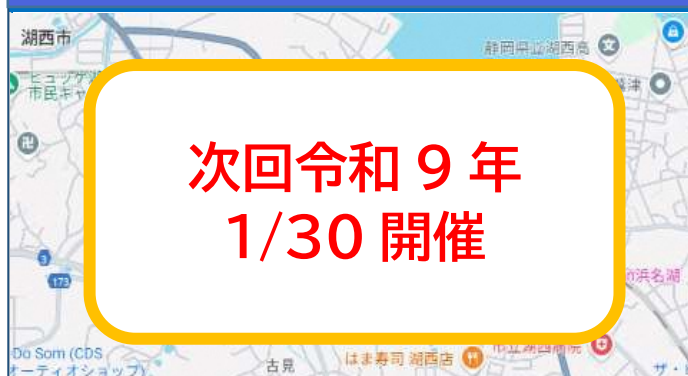
賀茂郡東伊豆町稲取3354

【伊豆会場】生きいきプラザ



伊豆市小立野38-2

【湖西会場】湖西市健康福祉センターおぼと



湖西市古見1044

次回令和9年
1/30 開催

医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・歯科衛生士・理学療法士・弁護士・司法書士・社会保険労務士
社会福祉士・精神保健福祉士ほか、生活支援に関する専門職が相談をお受けします。

お問い合わせ先：静岡市清水医師会 在宅医療介護相談室



054-344-0550

令和8年8月25日

定例記者懇談会資料

「^{あおのだいし}青野大師ダム教室」の開催について

(下田土木事務所)

1 概 要

下田土木事務所では、管理する青野大師ダムにおいて、地元の小学生を招き、水の大切さ、ダムの仕組みや役割について学習する「青野大師ダム教室」を開催します。

2 日 時

実施日	時 間	学校名	学 年	児童数
9月15日(火)	10:10-11:15	南伊豆町立 南上小学校	2,3年生	16名
9月16日(水)	10:35-11:45	南伊豆町立 南中小学校	4年生	15名
9月29日(火)	9:50-11:05	南伊豆町立 南伊豆東小学校	4年生	14名

(人数は暫定)

3 場 所 青野大師ダム(南伊豆町青野)

- 4 内 容 ①ダム管理所での説明(ダムの仕組みや役割について)
②ダム設備の見学(取水ゲート操作室など、一般に出入り出来ない施設内部の見学)

- 5 その他 ・取材に来られる方は、事前に連絡していただき、当日はダム管理所までお越しください。
(付近に駐車スペースがあります。)
・南伊豆町に、大雨等の注意報以上が発表された場合は、中止し、連絡いたします。

青野大師ダムは、南伊豆町を流れる二級河川青野川の支川である鈴野川に、洪水調節、流水の正常な機能維持、水道用水の確保を目的に建設された多目的ダムであり、平成18年8月から本格運用しています。

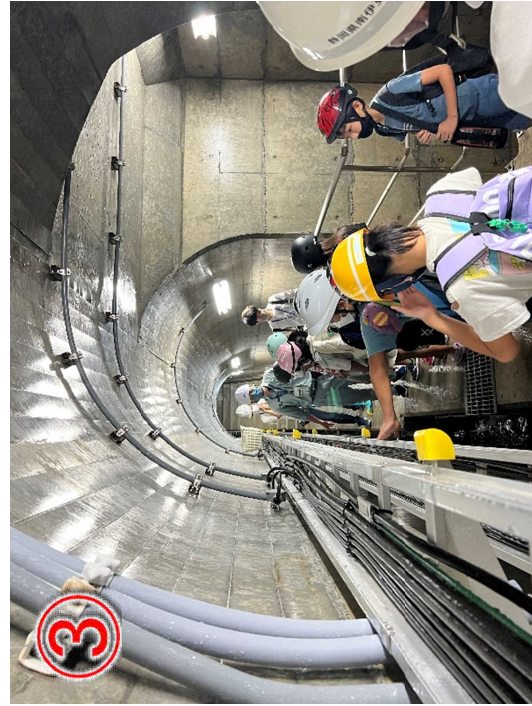
担 当：工事第1課 鈴木
連絡先：0558-24-2114

過去のダム教室の様子



ダム管理所での説明

ダム施設見学

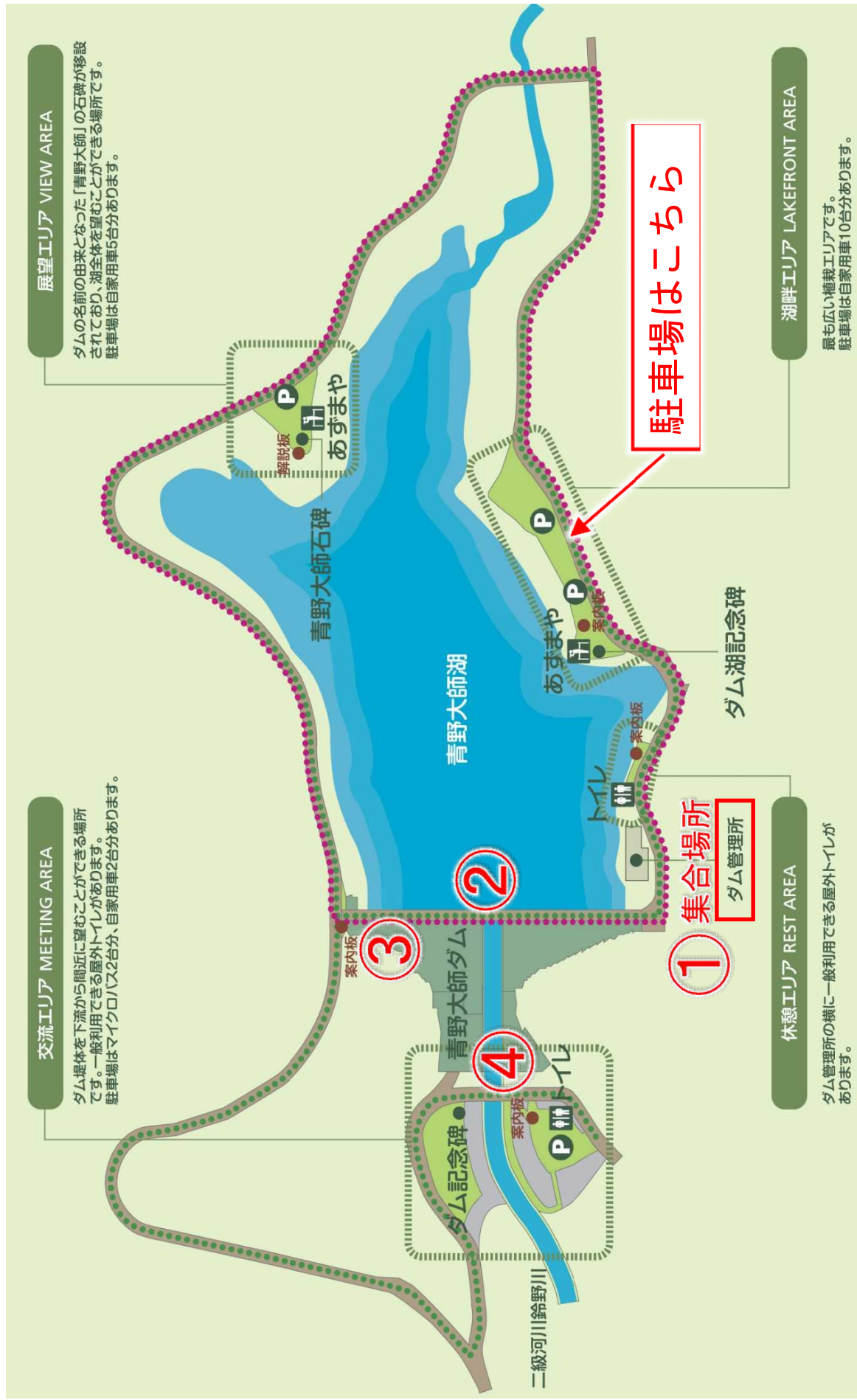


ダム堤体内見学



ダム施設見学

青野大師ダム 見取り図



あおの だいし

青野大師ダム

河川総合開発事業



静岡県下田土木事務所

〒415-0016 下田市中531番地の1 静岡県下田総合庁舎5階
TEL 0558-24-2113 FAX 0558-24-2123

Shizuoka Prefecture Shimoda Public Works Office
City Planning Policy Division

531-1 NAKA, SHIMODA-CITY, SHIZUOKA-PREF, 415-0016 JAPAN.



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

事業の概要

青野大師ダムは、南伊豆町を流れる二級河川青野川の支川である鈴野川に生活貯水池として建設された多目的ダムです。

平成3年度から河川総合開発事業として国の補助を受け、工事用道路、付替林道の工事完了を経て、平成14年度に本体工に着手し、平成15年9月から本体コンクリートの打設を開始し、平成16年11月に打設完了しました。

ダム管理所の建設、試験湛水、周辺環境整備工事も進め、平成18年8月にダム建設工事が完了となりました。

青野大師ダムの目的



S51.7.11 青野川大洪水

- 洪水調節

ダム地点の計画高水流量 $25\text{m}^3/\text{s}$ のうち $20\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、青野川上流域の水害を防除する。

- 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の青野川上流域の既得用水の補給を行うため、また河川環境（動植物の保護等）の維持のため、いつも川に一定の水が流れるようにする。

- 水道用水

南伊豆町に対し、岩殿地点において、 $2,000\text{m}^3/\text{日}$ の水道用水を供給する。

青野大師とは？

南伊豆町青野地区に弘法大師をお祀りし、周辺地域の人々から信仰を集めていた「青野のお大師さん」の石碑や祭壇は、ダムの建設に伴い、移転しました。

この「青野大師」より、ダムの名前をいただきました。

また、湖の名前は一般公募により「青野大師湖」となりました。



展望エリアより石碑、ダム湖を望む

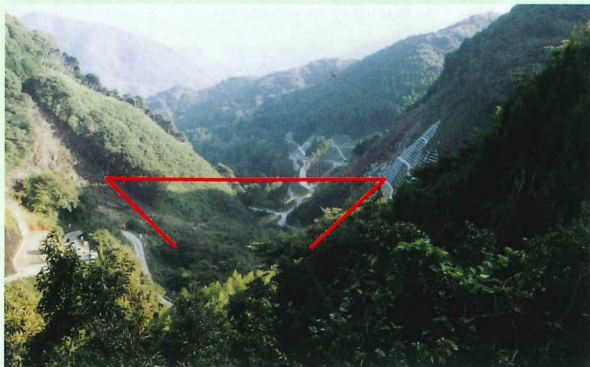


青野大師石碑

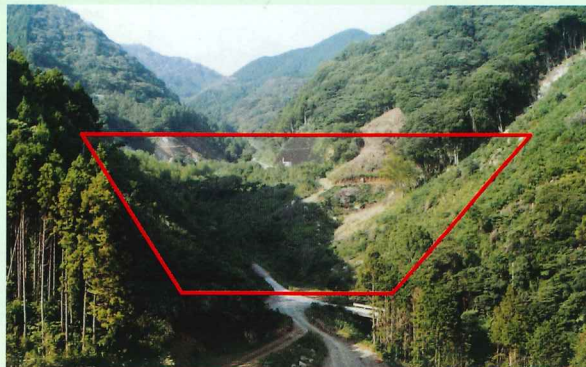
ダムができるまで

多くの人の手によって、青野大師ダムの建設が進められました。

上流から下流を望む



下流から上流を望む



H13.10 本体工事着手前



H16.7 本体コンクリート打設中



H17.9 試験湛水前

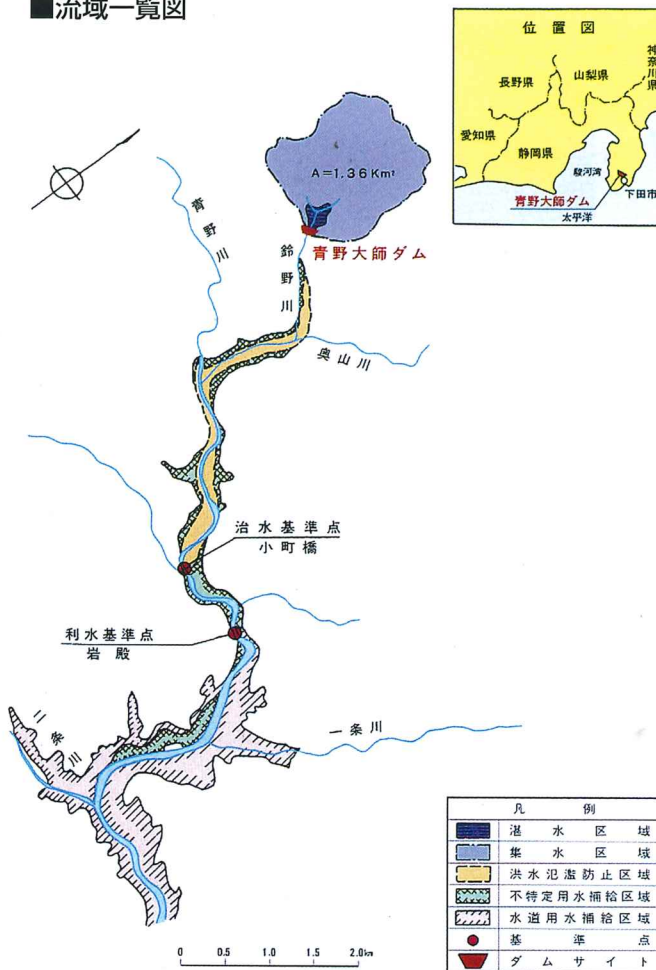


H18.7 建設工事完了

ダムの概要

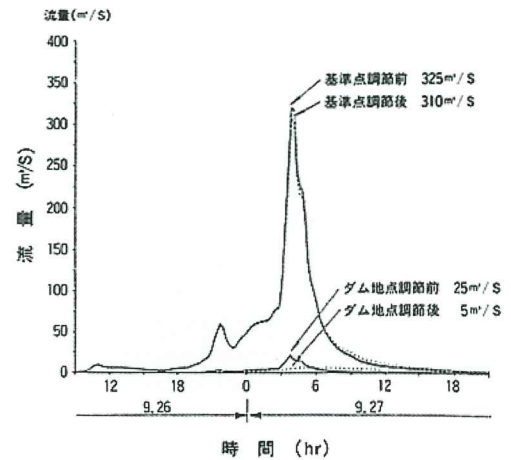
流域一覧図

■流域一覧図



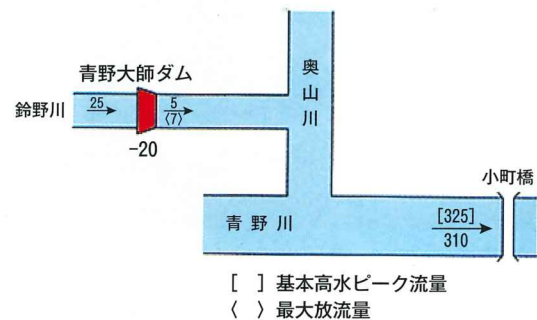
洪水調節図

■洪水調節図



流量配分図

■計画高水流量配分図



ダム諸元

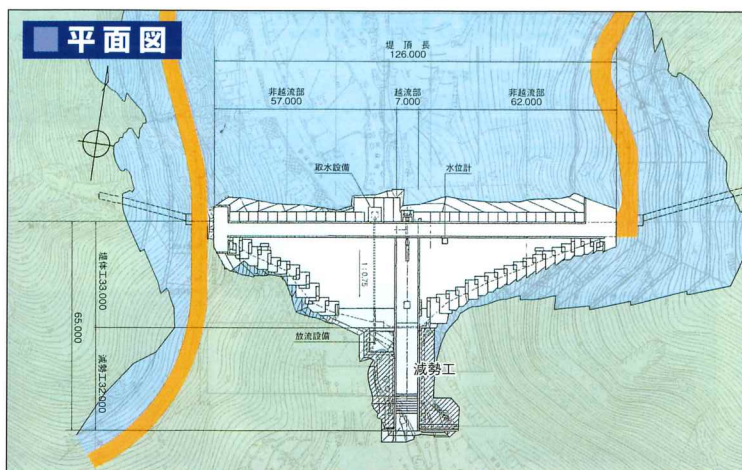
ダムの諸元	位置	二級河川鈴野川（青野川水系） 賀茂郡南伊豆町青野地先	放流設備	常用洪水吐き	オリフィスによる自然調節 幅0.95m×高0.90m×1門
	型式	重力式コンクリートダム		非常用洪水吐き	クレスト自由越流 幅7.00m×高2.40m×1門
	堤高	39.5m		利水放流設備	主：ジェットフローゲート φ200mm、φ100mm各1門 副：スルースパブルφ200mm、φ100mm各1門 放流管φ600mm×1条
	堤頂長	126.0m			
	堤体積	42,500m³			
	非越流部標高	EL. 173.5m			
貯水池	集水面積	1.36km²	設備管理	計画高水流量	25m³/s
	湛水面積	0.025km²		ダム設計洪水流量	60m³/s
	総貯水容量	295,000m³		低水放流設備	φ600mm×1条
	有効貯水容量	240,000m³	設備管理	通信・制御	1式
	最低水位	EL. 154.5m		管理所	1式
	常時満水位	EL. 163.0m	補償	道路付替	林道1,971m
	サーチャージ水位	EL. 170.0m		用地補償	8.7ha
	設計洪水位	EL. 172.4m	事業期間		平成3年度～平成18年度
	地 質	石英安山岩	事業費		78.6億円

事業経緯

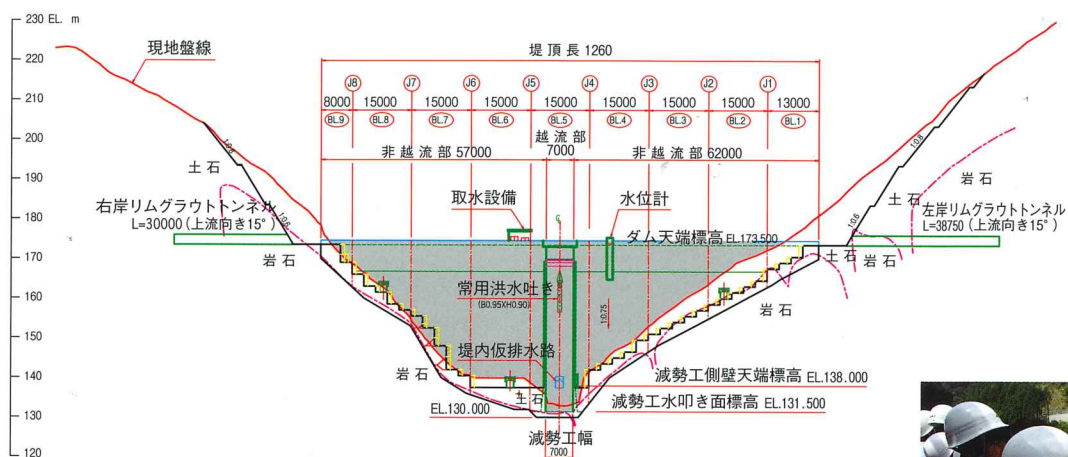
平成3年4月 建設事業採択
平成6年3月 水道事業者（南伊豆町）との基本協定締結
平成8年2月 補償基準妥結
平成14年10月 ダム本体工着手

平成17年3月 ダム本体工完成
平成17年10月 試験湛水開始
平成18年4月 試験湛水終了
平成18年8月 竣工

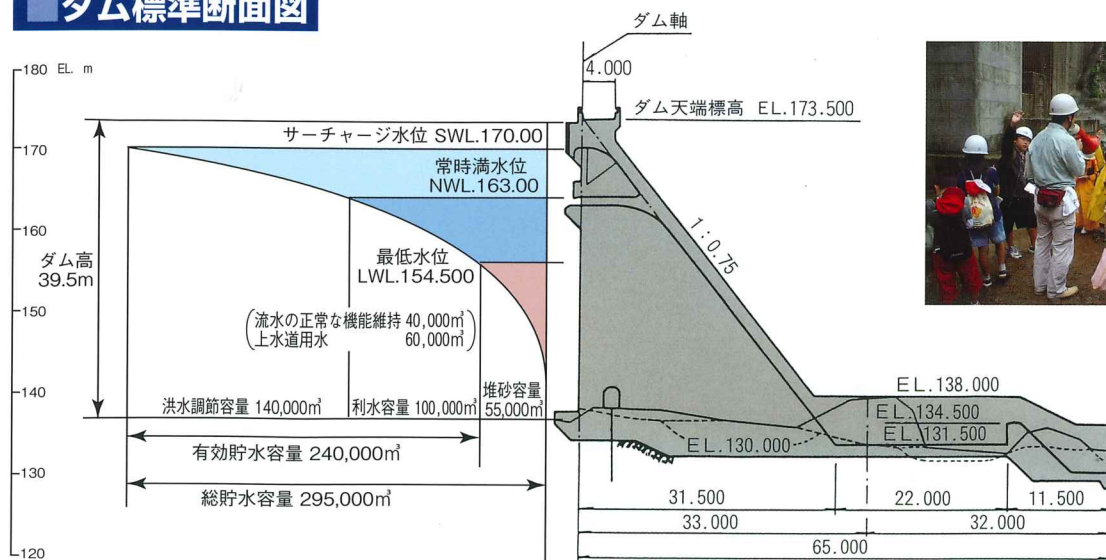
ダムの概要



■ 下流面図



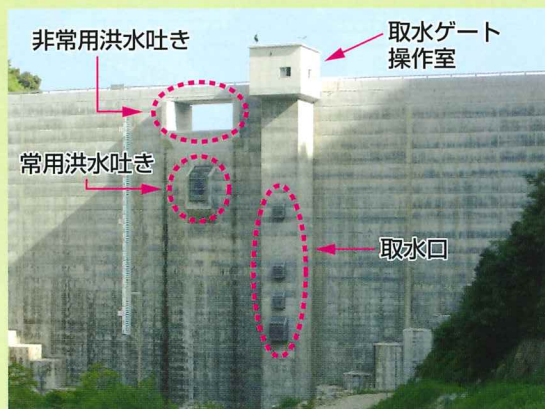
■ ダム標準断面図



ダムの諸設備

青野大師ダムの洪水吐きはゲートの無い構造（ゲートレスダム）で、洪水は自然放流されます。

利水基準点（岩殿）において、水道用水等で必要な河川の水量を確保するための放流は、貯水池から適切な水を選択して取水し、バルブ操作で下流への放流量を調節します。



取水ゲート操作室



利水放流バルブ室



ダム監査廊内部



出水時や大規模地震時には、ダム管理所に配備し、ダム堤体や貯水池等を監視します。多重無線により、下田土木事務所でも諸データの確認ができます。



ダム周辺環境整備

交流エリア MEETING AREA

ダム堤体を下流から間近に望むことができる場所です。一般利用できる屋外トイレがあります。駐車場はマイクロバス2台分、自家用車2台分があります。

展望エリア VIEW AREA

ダムの名前の由来となった「青野大師」の石碑が移設されており、湖全体を望むことができる場所です。駐車場は自家用車5台分あります。



休憩エリア REST AREA

ダム管理所の横に、一般利用できる屋外トイレがあります。

湖畔エリア LAKEFRONT AREA

最も広い植栽エリアです。駐車場は自家用車10台分あります。



風と遊ぶ 海に染まる。

気持ち全開。南向き。

おおらかで、のびのびとした南伊豆の大自然。
 緑をたたえる山があり、紺碧を極める海がある。
 ふるさとのように懐かしい、そんな暖かさに包まれて
 身も心も新鮮な感動で満たされてゆく。
 季節の扉を開くたびに、
 いい出会いにめぐりあえる——それが南伊豆。



みなみの桜と菜の花祭り



長者ヶ原山ツツジ



弓ヶ浜海水浴場



下賀茂温泉



石廊崎灯台

ダムカード配布場所

- 道の駅「下賀茂温泉 湯の花」(南伊豆町観光協会)
 住所：静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂 157-1
 配布日時：9：00～17：00 (土・日・祝日を含む)
- 下田土木事務所
 住所：静岡県下田市中 531-1 (下田総合庁舎 5 階)
 配布日時：8：30～17：15 (土・日・祝日は除く)

ホームページ URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-810/aono.html>



ダム管理所前に
 設置してある
 スタンプを押すか、
 撮影したダムの
 写真を提示してね!

イメージキャラクター
 青野大師ダムゾー

静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施

(下田土木事務所)

1 概要

県では、国土交通省が屋外広告物の適正化を一層推進するために定めた屋外広告物適正化旬間（毎年9月1日～10日）に合わせ、県内一斉のパトロールや啓発活動等を行っている。

下田土木事務所においても、管内各市町と合同で、違反屋外広告物のパトロール、簡易除却活動や安全管理の啓発活動等を実施する。

2 実施日程等

対象市町	実施日・集合時刻	集合場所	実施路線
下田市	9月1日(火) 13:30	下田総合庁舎	国道135号・136号・414号 ほか
東伊豆町	9月3日(木) 10:00	東伊豆町役場	国道135号・414号、 県道下佐ヶ野谷津線 ほか
河津町	9月3日(木) 13:30	河津町役場	
西伊豆町	9月7日(月) 10:00	西伊豆町役場 宇久須支所	国道136号 ほか
松崎町	9月7日(月) 13:30	松崎町役場	
南伊豆町	9月10日(木) 13:30	南伊豆町役場	国道136号、 県道下田石廊松崎線 ほか

3 実施内容

- ・安全上問題のある屋外広告物や未確認の違反広告物の把握、是正指導
- ・屋外広告物法の規定に基づく簡易除却が可能な屋外広告物の除却作業
- ・法令や安全管理の普及啓発活動（チラシの配布）

4 参加者

静岡県下田土木事務所職員（2名）、対象市町職員（各回1名）

5 その他

取材を希望される場合は、前日までに担当者にご連絡ください。

担 当：都市計画課 都市計画班
連絡先：0558-24-2110

9月1日～10日は

おくがいこうこくぶつてきせい かじゅんかん

「屋外広告物適正化旬間」です

～屋外広告物のルールを守って安全で美しいまちづくり～

屋外広告物とは…

◆ 屋外に設置する看板や広告です



屋外広告物を表示・設置するには…

- ◆ 許可が必要です（許可が不要な場合もあります）
- ◆ 地域により許可基準が異なります

～ 詳しくは、許可申請窓口（裏面）にお問い合わせください ～

屋外広告物に関する事は
どこに聞けばいいの？

屋外広告物の許可申請窓口 お問い合わせください

静岡県屋外広告物条例が適用される区域

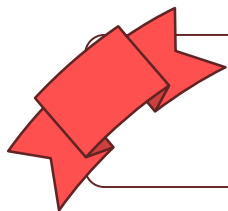
市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
東伊豆町 河津町 南伊豆町 松崎町 西伊豆町	下田土木事務所 都市計画課	下田市中531-1	0558-24-2110
函南町 清水町 長泉町 小山町	沼津土木事務所 都市計画課	沼津市高島本町1-3	055-920-2221
吉田町 川根本町	島田土木事務所 都市計画課	島田市道悦5丁目7-1	0547-37-4181
森 町	袋井土木事務所 都市計画課	袋井市山名町2の1	0538-42-3292
伊東市	伊東市 都市計画課	伊東市大原2丁目1-1	0557-32-1781
島田市	島田市 都市政策課	島田市中央町1-1	0547-36-7179
磐田市	磐田市 都市計画課	磐田市国府台3-1	0538-37-4907
焼津市	焼津市 都市計画課	焼津市本町2-16-32	054-626-2160
掛川市	掛川市 都市政策課	掛川市長谷1丁目1-1	0537-21-1151
藤枝市	藤枝市 都市政策課	藤枝市岡出山1丁目11-1	054-643-3373
下田市	下田市 建設課	下田市河内101番地の1	0558-27-1007
湖西市	湖西市 都市計画課	湖西市吉美3268	053-576-1693
伊豆市	伊豆市 都市計画課	伊豆市八幡500-1	0558-83-5206
御前崎市	御前崎市 都市整備課	御前崎市池新田5585	0537-85-1122
菊川市	菊川市 都市計画課	菊川市堀之内61	0537-35-0932
牧之原市	牧之原市 都市住宅課	牧之原市相良275	0548-53-2633

それぞれの市の屋外広告物条例が適用される区域

市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
静岡市	静岡市 景観まちづくり課	静岡市葵区追手町5-1	054-221-1123
浜松市	浜松市 土地政策課	浜松市中区元城町103-2	053-457-2344
沼津市	沼津市 開発指導課	沼津市御幸町16-1	055-934-4762
熱海市	熱海市 まちづくり課	熱海市中央町1-1	0557-86-6383
三島市	三島市 都市計画課	三島市北田町4-47	055-983-2631
富士宮市	富士宮市 都市計画課	富士宮市弓沢町150	0544-22-1408
富士市	富士市 建築土地対策課	富士市永田町1丁目100	0545-55-2796
御殿場市	御殿場市 都市計画課	御殿場市萩原483	0550-82-4240
袋井市	袋井市 都市計画課	袋井市新屋1丁目1-1	0538-44-3122
裾野市	裾野市 都市計画課	裾野市佐野1059	055-995-1829
伊豆の国市	伊豆の国市 都市計画課	伊豆の国市長岡340-1	055-948-2909

<参考> 許可申請書の作成(有償)に関すること

静岡県行政書士会 (電話:054-254-3003)



安全な看板で お客様に選ばれる会社やお店に！

看板の安全管理には、日常点検による早期発見、定期点検等による早期対応、保守管理のスケジュール化の3ステップが不可欠です。

安全な看板は、会社やお店のイメージをアップし、信用・信頼を担います。

1 日常点検で、セルフチェック！ 早期発見が事故を防ぎます

屋外広告物は、雨や風、強い日差しなどの厳しい自然環境にさらされています。表面はきれいな看板に見えても、内部では気づかぬうちに腐食が進み、落下や倒壊等の事故を生じ、取り返しのつかない事態を招く恐れがあります。

日常的に、目視による「危険サイン」のセルフチェックを行いましょう。

< 日常点検 チェック表 >

セルフチェック項目	危険サイン 有
取付（支持）部分に、サビ、腐食が出ていませんか	☐
主要部材に、変形、サビ、腐食がありませんか。	☐
ブラケットからサビの汚ダレが出ていませんか。	☐
看板が傾いていませんか。	☐
パネル板に、ひびや破損がありませんか。	☐
パネル板が、がたついたり、外れかけたりしていませんか。	☐
表示面の汚染、変色、剥離がありませんか。	☐
照明は正常に点灯していますか。	☐
照明器具が、傾いたり、外れかけたりしていませんか。	☐
部材・部品が欠落していませんか。	☐

※震度5以上の地震や大型台風の後などは、屋外広告業者に臨時点検を依頼しましょう。

2 定期点検などを屋外広告業者に依頼！ 早期対応がリスクを抑えます

「危険サイン」を見つけた場合や定期点検（年1回程度）は、屋外広告業者に目視だけでなく打診等による詳細な点検や補修等を依頼しましょう。

早期に対応すれば、サビを落とし保護材を塗布する等の簡単な処置で済むものも、放っておくと取替えや大規模補修により多額の費用がかかり、事故が発生した場合は賠償責任を問われることもあります。後回しは、大きなリスクとなります。

3 許可更新申請時に、総合点検！ スケジュール化で安全管理のしくみづくり

看板を安全に長持ちさせるためには、保守管理をスケジュール化しておく必要があります。許可更新申請のタイミングで、しっかりと総合的（目視・打診等）な安全点検や補修などを行い、問題点を解決しておくことが、持続可能な安全管理のしくみづくりにつながります。

【問い合わせ】 静岡県 下田土木事務所 都市計画課 TEL 0558-24-2110
静岡県交通基盤部 景観まちづくり課 TEL 054-221-3702

広告物の落下事故は あなたの会社やお店の 信用も落とします！

万一、看板事故で第三者に被害を与えた場合、積み重ねてきた会社やお店の信用を一瞬で失うことになりかねません。
看板の事故は、多額の賠償金や風評により、事業の継続が脅かされるようなリスクもはらんでいます。

約 15mの
高さから
落下



2015 年 2 月、札幌市内の飲食店ビルの外壁に取付けられた看板の一部が落下し、歩道を通行していた女性の頭部に当たり重傷を負わせる事故が発生しました。外壁への取付け部品が腐食したことで強度が低下し、強風の影響で落下したものとみられています。

1997 年、台風による強風で渋谷区商店街入口に設置されていた旧アーケード看板(重さ 4 t)が倒壊、数人が下敷きとなり男性一人が死亡。この事故で商店街組合、役員、理事が計 1 億円の賠償金を負いました。看板会社が所有者に安全点検を勧めたものの放置されていたそうです。

看板事故が報道されるのは、人身事故を伴う場合などごく一部、氷山の一角に過ぎません。
あなたの看板は、大丈夫ですか？

高まる看板事故のリスク！

近年、ニュースに取り上げられる看板事故が目立つようになりました。
台風の強大化など自然環境の変化に加え、バブル期に設置された大看板が管理されずに放置されるケースもあり、看板事故のリスクは、年々、加速度的に高まっています。

< 近年の主な看板事故年表 >

時 期	内 容
2013.03	JR 赤羽駅前のバス停留所で、横 1.5m、縦 0.8m の看板が強風の影響で飛ばされ、通行中の 30 歳の男性を直撃。右手首骨折の他、顔にもケガを負った。
2013.05	新宿駅西口近くの 10 階建てビルで、屋上に設置された看板のステンレス製枠の一部が落下。約 35 m 下の歩道を歩いていた女性に当たり軽傷。
2014.03	西武新宿線の鷺ノ宮駅の上りホームで、高さ約 4 m の天井から 2 本の支柱でつり下げていた、重さ約 22 kg の金属製案内看板が落下。けが人なし。
2014.05	神戸市中央区の JR 神戸線元町駅そばの高架下で、駅名の表示板が落ちかけているのを通行人が見つけた。けが人なし。
2014.07	沖縄県地方を襲撃した台風 8 号(ノグリー)の強風でアイスクリーム店の看板が倒壊。
2015.02	札幌市の飲食店で強風により袖看板の付属部材が落下、通行人の女性を直撃し意識不明の重体となった。原因は老朽化によるものだが、看板本体の安全点検は 30 年間、目視による確認しか行っていなかった。
2022.06	伊東市の土産物店で強風により発泡スチロール製のモニュメントが落下し、通行人に当たり、緊急搬送された。経年劣化により強風に耐えきれず落下したと思われる。
2024.03	沼津市内のビルに設置してある袖看板の一部が強風により落下した。けが人なし。

県内でも落下事故が発生しています！

身近に潜む、危険!!な看板

◆袖看板（壁面突出し看板）

ブラケットからの汚ダレ、板面の破損、看板内部の腐食、板面の破損など。
高所に設置されている場合は、板面の一部や部品が落下しただけでも、重大な事故につながる恐れがあります。



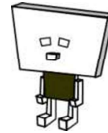
↑看板面(アクリル板)のひび、割れ、ゆがみ板面の落下により、内部に水が入り腐食する原因に。



↑内照式看板内部の腐食、部材の腐食器具の劣化による出火の恐れも。



←取付金具のサビや腐食。ボルトやビス等が欠落していたら緊急の対応が必要。放置すると看板が落下する恐れも。



ブラケット下に汚ダレが見られると、内部の取付金具にサビや腐食の可能性もある。



↑看板底部の脱落

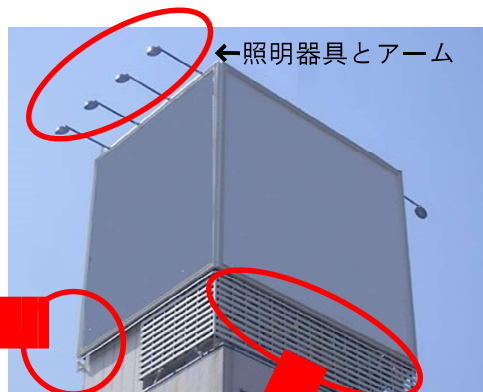


↑看板底部の留め具が壊れるとアクリル板が抜け落ちる原因にも。

◆屋上看板

老朽化した屋上広告塔の骨組みや目隠しルーバーがサビによる腐食でボロボロに。高所での大改修や撤去作業は、費用も高額になります。

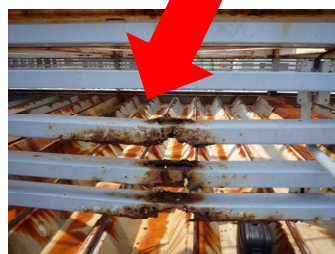
外照式の屋上看板では照明器具のアーム接合部の腐食やボルトのゆるみがあると器具が落下する恐れがあります。



←照明器具とアーム

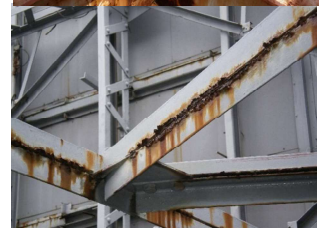
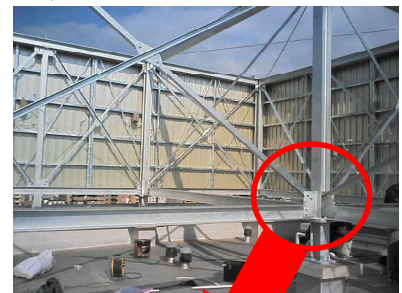


↑板面裏側のサビ、腐食。サビによる腐食はミルフィーユ状に剥がれ崩落する恐れも。



↑目隠しルーバーのサビ・腐食。

↓屋上広告塔の内部構造



↑内部鉄骨のサビ・腐食。

危険サインを示す看板は、あなたの身近にも！？

◆壁面看板

表示パネルの四方を押さえ枠で固定する欄間看板。
複数枚のパネルを使用する場合は、隣り合うパネル
同士をきちんと固定しないと、振動や風などで落下
する恐れがあります。



←パネルの変形、ズレ、破損の他、
パネルの押さえ枠が変形し落下
する場合も。

落下したパネル板→



◆野立看板（建植看板、自立看板、ポール看板等）

地上に建てられたものの総称。柱の形状によりポール看板等とも呼びます。
柱の根元、看板と柱の接合部にサビが出ていないか確認。看板から柱への汚ダレにも注意
しましょう。柱の根元に水が溜まっていると根腐れによる倒壊の危険があります。

交通の激しい沿道で看板の柱が折れたが、隣地の看板
が支えとなり、道路への倒壊を免れた事故。
電線を切断すると停電による損害賠償額は膨大な金額
になることも。

折れた柱の根元。 →
点検口のボルト穴から
サビが入り腐食して、
鉄骨が破断した。



↑看板本体からポールへの
汚ダレがあると、接合部に
サビや腐食が進行する恐れ。



↑柱根元のサビを放置し、倒壊。

看板の根元がカバーで
覆われている場合、表面
はきれいでも内部でサビ
が進行している恐れも。 →



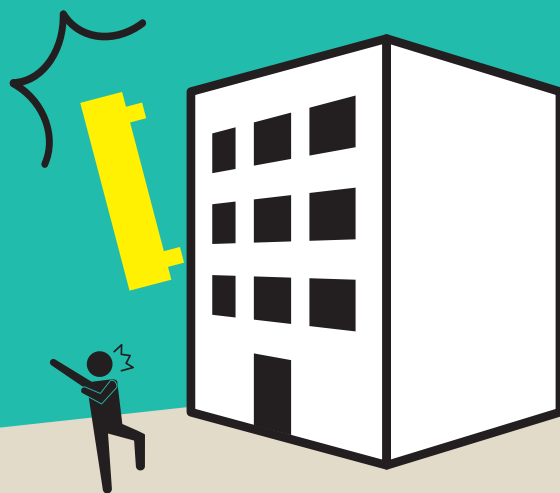
倒壊・落下の危険を見つけたら！

- ◆付近を立入禁止にし、見張りを置く。
- ◆信頼できる屋外広告業者に連絡。
- ◆人通りの多い場所では警察にも連絡。

大丈夫ですか？
つけたままになっている
その看板

落下してからでは
もう遅いのです。

ちゃんと点検していますか？



！ こんな看板は要注意です。安全管理は設置者・管理者の責務です。



ブラケットの腐食



側板底面の腐食、破損



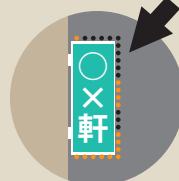
看板の傾き



支柱の腐食



パネル板の破損



照明器具の不点灯



定例記者懇談会資料

道路愛護優良団体の表彰について

(下田土木事務所)

(要旨)

静岡県道路利用者会議は毎年、地域の道路愛護に功績のあった団体や個人を表彰している。

賀茂管内では下記の団体が受賞したため、同会議下田支部長（加畑 毅 県議会議員）から感謝状の贈呈を行う。

(概要)

1 日時・場所

令和 8 年 8 月 27 日（木）午前 10 時 30 分 ～ 11 時頃
下田総合庁舎 2 階 第 6 会議室（下田市中 531-1）

2 受賞者

フラワーロードみ幸橋（みゆきばし） 代表 内田 秀明 氏

<活動内容>

西伊豆町宇久須地区において、県道仁科峠宇久須線添いのプランター管理（水やりなど、天候に応じて週 2 ～ 3 回）や植栽・草刈り（年 4 ～ 5 回）を行い、道路の美化や環境整備に努めている。

3 静岡県道路利用者会議について

県内道路の整備改善に努めることを目的に設立。

県、市町、県トラック協会、県バス協会、県タクシー協会、県自動車会議所、県建設業協会及び県道路公社により構成され、静岡県議会議長が会長を務める。

実施事業の 1 つである道路愛護活動の一環として、道路の清掃活動や花壇の管理などの道路美化、保全、環境整備等に努めた道路愛護優良団体や個人に対して表彰を行っている。

なお、同会議は県内地区ごとに支部を設けており、下田支部においては支部長を加畑県議会議員、事務局を下田土木事務所が務めている。

担 当：総務課 高野

連絡先：0558-24-2103

定例記者懇談会資料

消費者教育出前講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられたことに伴い、18歳になると親の同意がなくても契約ができるようになる一方で、未成年者取消権が適用されなくなるため、悪質事業者に狙われやすくなり、様々な消費者トラブルに巻き込まれることが懸念されます。

つきましては、高校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

(出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和8年5月26日(火) 13:30～13:50	県立下田高校	保護者
令和8年6月15日(月) 15:20～16:10	県立下田高校(全日制)	2年生
令和8年9月16日(水) 17:40～19:00	県立下田高校(定時制)	1～4年生
令和9年2月25日(木) 10:45～11:45	県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校	2年生
令和9年3月16日(火) 8:45～9:35	県立松崎高校	1～2年生

(内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
 - ・ 契約やお金の基礎知識
 - ・ 若者が狙われやすい商法
 - ・ ネットショッピングの注意点
 - ・ 暮らしとお金
 - ・ 消費生活センターの紹介 など
- 講話のあと、グループワークを予定しています。
- 取材いただける場合は、事前に下田高校定時制課程までご連絡ください。

担 当：賀茂広域消費生活センター 松久
連絡先：0558-24-2206

令和8年8月25日

定例記者懇談会提供資料

賀茂地区幼保小接続推進研修会

(賀茂地域教育振興センター)

(目的)

幼児教育施設と小学校の教職員が互いの教育・保育の理解を深め、学びのつながりを共有しながら子供の成長を支えることで架け橋期の教育の質向上を図る。

(概要)

日 時	令和8年9月3日(木) 14:00~16:30
会 場	賀茂教育会館 2階 大会議室
内 容	(1) 挨拶 (2) 講 義 「幼児教育と小学校教育の学びのつながり」 講師 賀茂地区幼児教育アドバイザー 兼 架け橋期のコーディネーター 土屋 幸子 (3) グループ演習 「架け橋期の学びのつながりについて語り合う ～園で展開される活動や小学校の単元構想をもとに～」 (4) 指導講評
参加者	賀茂地区の 小学校教職員 幼稚園、保育園、認定こども園の教職員 教育委員会の指導主事 等 合計 35 名
その他	取材していただける場合は、14:50~16:10 のグループワークの様子がありがたいです。

担 当：賀茂地域教育振興センター
連絡先：0558-24-2044